

みずき会報

1999.10.1 VOL.1 発行 みずき会事務局 〒950-2292 新潟市みずき野3丁目1番1号 新潟国際情報大学内 TEL 025-239-3111(代) FAX025-239-3690



発刊にあたり



みずき会会長

高橋 毅

皆様こんにちは、みずき会会長の高橋毅でございます。先般は待望の卒業初の同窓会に多数お集まりいただきまして、誠にうれしく、感謝にたえないところであります。

皆様方も多年、しっかりと学び遊ばれた同窓、晴れがましい同窓会の席で歓談されたことは、たいへん大きな喜びであったかと思われま

す。世間の多くの同窓会を例にとりまして、集まるのはその年の卒業生が大部分で、前年、前々年にさかのぼるにしがたが、出席する人は極めて少なく、たまたま出席しても年代が違つたために、なんだか親しみにくい感じをもつというありさまのようです。

しかしわがみずき会はまだ走り始めたばかり、年とともに参加者が増え、しかもいつになっても「基本は故郷新潟」変わらぬ懐かしさと親しみをもって集まれるということは、何物にも代えがたい喜びあり、誇りでもあろうかと思

われます。

懐かしい母校は、今、年とともに隆盛になっております。しかし私たちは、母校がただ盛大になることばかりを願っているではありません。母校がこの町、この県、全国、そして世界中へと散らばって活動している、卒業生の心のよりどころとなって、社会のために貢献することを望んでやまないものであります。

私は、同窓会発会の辞にて「我が母校が年毎に評価を高めていくためには、卒業生的美徳のゆえにほかなりません。学歴というものは国籍と同じで変えることはできません。ならば本大学を卒業したことを誇りにもち、会員相互の親睦の向上を図りながら、母校の発展に惜しみない努力をしようではありませんか」と述べました。

今もその気持ちはもちろん変わりありません。皆様が久しぶりに同窓会の席にお集まりいただき、心ゆくまで懐かしい思ひ出話や、現在または将来についてもお話し合いになれる場を提供するとともに、母校発展のために、精一杯尽力いたしますので、皆様方も是非、ご協力のほどお願いいたします。

それでは皆さん、健康に十分留意して、まずはそれぞれ、大いに人生を楽しみましょう！次回同窓会にてお会いするのを心待ちにしております。



学長

小澤 辰男

開学して6年が過ぎ、2回目の卒業生を3月に送り出しました。月日の経つのを新らためて早いものだと思っております。卒業生の皆さんも同じ思いではないでしょうか。皆さんは1年生もしくは2年生であり、大学に入学はしたものの、先輩と呼べる者、活動しているサークルや同好会もなく、全て見るもの、聞くものが初ものであり、とまどったことと思います。しかしその皆さんがゼロからスタートし、今日の新潟国際情報大学の歴史と伝統を築き始めたのです。

学友会の結成、紅翔祭の開催、新入生を迎えるのフレッシュユマンキャン、1年生、2年生によるスポーツ大会、全て皆さんが手作りでスタートさせ試行錯誤を繰り返しながら基礎づくりをし、今日を迎えることとなったのです。今更ながら若い皆さんのエネルギーに敬意を表するものです。

そしてこのたびみずき会が発足し、機関誌が発刊されることとなりました。自分の卒業した大学や先生を思いつづけることは難しく、人に言われてもできることではありません。大学ということころはともすれば教員と学生の関係は希薄になり、又学生同志も他人であり、個としての存在しかあり得ないようなところもあります。そうした無関係になりがちなつながりが多いなかで早速同窓会が発足し、総会が開催され、機関誌が発刊されることは大変意義深く、教職員共々誇りに思うものです。そして役員の皆様本当に有難う、御苦労様でした。これからも継続することの辛さを味わうことも多いでしょう。「フロンティア」である皆さん力を合わせて頑張ってください。会員皆様の絶大な御協力も併せてお願い申し上げます。「実践躬行」ともすれば、いや、ほとんどが失敗に終るかもしれません。しかしそれが若さの特技です。会員皆様の実社会での大いなる飛躍を祈念し、お祝いとお礼の御挨拶といたします。

みずき会 総会行われる

去る9月4日(土)、新潟国際情報大学同窓会・みずき会の第1回総会及び懇親会が、ホテル新潟にて行われました。

新しくは卒業生を迎え、年を経るに従って会員も益々増加し、又、会員の皆様も母



▲懇親会は和やかムードで行なわれました。

総会は、高橋同窓会長の挨拶に始まり、若月副会長による今後のみずき会の活動紹介、予算報告と続き、懇親会へと移りました。懇親会では新潟情報大学学部長・石川先生より第1回総会開催のお祝いの言葉と、これからのみずき会への激励の言葉を賜り、開宴となりました。着席パーティーでしたが、皆さん席をあちこちへと移つての2時間となり、最後は一本締めをもって盛況のうちに閉会しました。

まだ1年目、2年目とは言え、社会人になつた久々に会う友人たちはどこかしら変わつて感じられたことでしょう。今回は、初の総会と言つこともあり、少し寂しい人数ではありましたが、アットホームに親交を深められた会となりました。

皆様ご存知のように、みずき会総会は毎年1回開催される予定です。これからまた新しく卒業生を迎え、年を経るに従って会員も益々増加し、又、会員の皆様も母



▲みずき会副会長若月壮さんによる予算報告。

新潟国際情報大学は今年の3月で2度目の卒業生を送り出し、我がみずき会会員が約600名となったわけでは

平成11年度 事業・予算報告

平成11年度事業 (案)

(平成11年4月1日～平成12年3月31日)

11年6月	役員会
8月	役員会
9月4日	総会
10月	会報発行
10月	役員会
10月23・24日	文化講演会開催(紅翔祭)
12月	役員会
3月21日	卒業式出席(役員)
3月下旬	役員会

平成11年度収支予算 (案)

(平成11年4月1日～平成12年3月31日)

収入 (単位 円)		
項目	金額	備考
会費	17,700,000	590名
合計	17,700,000	

支出 (単位 円)		
項目	金額	備考
機関紙制作費	200,000	
総会費	100,000	
文化講演費	300,000	紅翔祭
通信・印刷費	450,000	切手・はがき・封筒等
会議費	100,000	役員会・打合わせ会
雑費	150,000	生花等
備立金	350,000	
積立金	16,050,000	
合計	17,700,000	

次回の上、多数の総会では、ぜひ皆様お誘いあわせの上、多数の会員の方々の参集をお願い致します。



校を懐かしく思う気持ちも増えていくことでしょうか。年に1度、皆で集まって思い出や、近況を語らう仲間が徐々に集まればと期待しています。

長い人生の中で大学生活を思い出すときに「JOY」のおぼちゃんも思い出してほしいですね。皆さんの人生だからそれが甘はってくださる。人生は一瞬の連続です。今を大事にしてください。「失敗を恐れず!!」。

Q3 卒業生達に一言お願いします。

長い人生の中で大学生活を思い出すときに「JOY」のおぼちゃんも思い出してほしいですね。皆さんの人生だからそれが甘はってくださる。人生は一瞬の連続です。今を大事にしてください。「失敗を恐れず!!」。

Q2 大学が開学して6年ですが、周りの環境はどう変わりましたか?

周りの木々が成長して、桜もすいびんと大きくなりました。近くにコンビニエンスストアが開店しましたが、それは将来的に覚悟はしていました。大学は年間で半分くらい休みなので、それが、それでも皆さんがJOYを利用してくれるようにがんばっていきたいと思います。

Q1 卒業生との思い出は何ですか?

年賀状や暑中見舞い以外でお手紙をもらうと大変うれしかったです。勇気付けられ、元氣付けられます。1期生、2期生はほぼ全員の顔や名前を覚えています。皆さんと一緒に居たことが私の元氣の源となりました。今でも、1、2期生が以前(宅地造成前)の道で電車が来る時間に長い行列を作つて歩いてきたことを思い出します。

NUIS突撃インタビュー

第1回 JOYの稲田禮子さん



▲左の人が稲田禮子さん。

VOICE OF MEMBERS

平成9年度情報文化学科卒

(第一期生)

中央出版(株)富山支店 山川 大

大学を卒業し、仕事にも慣れてきたこの頃ですが、新卒時には、いろいろな経験をしてきました。私の仕事は、教材の訪問販売なので、今までの生活の中で一度も経験した事のない事柄の連続でした。見ず知らずのお宅に訪問し、その場で自分の話を聞いてもらい、商品を購入してもらおうという事の大変さ。仕事の厳しさを知りました。教育関係の仕事だけに、塾や家庭教師の勧誘や、悪徳セールスと勘違いされたり、また玄関からつきとばされたり、警察呼ぶぞとか、いいから帰れといったような事は日常茶飯事になっていきます。当初はかなり戸惑いもあり、精神的に弱気になっていった時もありましたが、仕事として割りきるといふ口意識を持つことにより、だいたいは慣れてきました。つらい事はばかりでは自分もタメになっていたでしょうが、営業なので全て数字次第で給料や昇格に関わってくるので、それを励みに頑張っているという感じ

です。入社当初の私は、まず責任者になるという目標をもって仕事をしていました。1月にリーダーになり係をもつようになり、8月で主任になり正責任者として会社からも認められるようになりました。自分自身の事だけでなく、部下や係、支社の数字を常に意識しなくては行けないので、入社当初に比べ、仕事も倍増しました。しかし、それなりにやりがいも出てきました。自分のビジョンだけでなく、係員の生活を安定させ、ビジョンをかなえさせてあげられるように、やっつけてい

ければいけないのです。今の私の目標は、毎年恒例で行なわれる、全社を挙げての最大のイベントである全営業社員個人戦で、30位以内に入賞し、去年はいけなかった受賞式にいくというのが目標です。常に前向きに行動し、自分の限界に挑戦し、全国に名前の知れ渡るトップセールスマンになるために、日々努力しているこの頃です。

平成9年度情報システム学科卒

(第一期生)

東テク(株)新潟支店 坂井 美鈴

私が東テク(株)新潟支店に入社してから約1年と6カ月、正確には大学4年生の10月にアルバイトとしてお世話になっていたので、2年近くが経とうとしています。仕事を始めてからというもの、時間が経つのがとても早く感じます。

アルバイトとして働くことになったとき、私の課題は仕事を覚えることもそうでしたが、それよりも電話に慣れること(情けない話ですが)でした。

家で出る電話や携帯で話す電話とは、当たり前ですが全然違いました。大事なお客様からの電話顔が見えない分声でしか相手の方の反応が読み取れない為、とても気を使いました。

メモをとるといふ習慣のなかった私は、相手の方が名乗り用件を言われると、社内の人に取次ぐときには用件を覚えておくのに必死で相手の名前などはすっかり忘れてしまつたのです。取り次げるときはまだ良いのですが折り返す様な事になってしまつと、名前が分からないのに電話をかけ直す事が出来ず迷惑をかけてしまいました。また、メモをとればとつた手が追いつかなく、単語ばかりが並

んだメモを文章にして伝えることもできず落ち込んだものでした。

今でも失敗はありますが、何度も繰り返しいるうちに自然に電話対応がスムーズになりました。失敗はこれだけではありませんでした。自分の会社にFAXを送つたり・・・と散々でした。

そんな私にも、今年の4月からとてもかわいい(?)後輩が二人もできました。二人とも国際情報大学卒業生で、現在会社には情報大卒が私を含めて4人います。

1人は私と同期でもある遠藤君、いつもしっかりしていて頼りになります。今年入った宮沢さんは、とても元気で職場が明るくなります。そしてもう1人、長谷川君は長岡営業所で頑張っていて、私が入った頃とは比べものにならない程電話の対応が素晴らしい、気もうちのいい人です。

部署はそれぞれ違いますが、私にとつてはとても強い仲間です。これからも、皆で助け合いながら頑張っていきたいと思います。

平成10年度情報文化学科卒

(第二期生)

東洋熱工業(株)東京本社 親松 直洋

卒様式の翌々日、まだまだ学生気分、卒業式の余韻を残したまま、新東京空港(成田空港)での社会人生活がスタートしました。業務内容の主なものとして団体旅行の客様のチェックイン業務、香港の空港会社キャセイパシフィック航空のファーストビジネスクラス専用ラウンジ、到着されるお客様のお迎え等です。

空港の朝は早く、7時到着予定の飛行機が6時頃到着してしまうなんて事も日常茶飯事、こんな日の朝は本当につらいんです。飛行機に振り回される毎日ですが、何より日々変化があり、また様々な国々の方と接し、毎日毎日新しい発見の連続です。

はじめの数ヶ月は、一日中走り回り、座っている時間などほとんどない生活でした。一度は、学生時代との生活の変化から全身顔にじんましんが出てしまいました。休まずるを得ないなんて事もありました。今では、少しづつこの不規則な生活が日常となり、ほんの少しですが、余裕を持てるようになってきました。これからは何かを感じ、吸収し、消化する。この機能をフルに活用して、初心を忘れずに頑張っていきたいと思えます。

皆様の益々の御活躍を祈念いたし、いつの日かお会いできることを楽しみにしています。

最後に私の失敗談を2つ程。

それをどうして欲しいのか。メモも残さず、報告もせず、上司の机の上に書類だけを乗せて、帰宅しました。結果は上司に大目玉!(教訓:報告はめんどくさくがらず、ちゃんとすること) 疲れて電車の中で眠ってしまい、目的の駅で降りれず乗り過ぎてしまいました。結果は上司にさらに大目玉!!(教訓:電車の中では眠らないこと) 以上、私の近況報告とさせていただきます。

平成10年度情報システム学科卒

(第二期生)

SIG(株) 乙川 直美

紅翔祭の ご案内

10月23日(土)・24日
午前10時より
スローガン
『新時代宣言』

今年の紅翔祭は「新時代宣言」をスローガンに10月23・24日の両日に行われることになりました。

また、みずき会では紅翔祭のイベントとして、父母会と合同で文化講演会を主催いたします。

講師に「男はつらいよ」の監督でお馴染みの山田洋次さんをお迎えして「寅さんと学校」をテーマとして講演していただく予定です。

聴講希望の方は入場整理券が必要となりますので、はがきに郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望人数を明記の上、10月15日(金)までに新潟国際情報大学みずき会事務局へお申し込みください。

詳しいお問い合わせはみずき会事務局へお気軽にごついで。



▲「寅さん」の監督でおなじみの山田洋次さんの講演が見もの。

あなたの投稿をお待ちしています

みずき会通信では、同窓会の皆さんの投稿を募集しています。最近気になる事や会社でのエピソード・近況報告など、どんなことでも構いません。下記の要領のみずき会事務局へお送りください。皆さんのご投稿をお待ちしています。

- 内容：400字詰め原稿用紙1～3枚程度
(できれば写真も同封下さい)
- 送付先：住所、氏名、在学中の学科・卒業年を明記の上
〒950-2292 新潟市みずき野3-1-1
新潟国際情報大学内 みずき会事務局行
※電子メール (dousou@nuis.ac.jp) でのご投稿も受け付けております。

住所変更を お知らせください

同窓会事務局では、今後同窓会名簿を発行して行く予定です。

そこで、現在既にご住所が変更になっている方、転勤やご結婚などでお引越しのご予定のある方は、同窓会事務局宛に住所変更をお知らせください。

ぜひ、ご協力をよろしくお願いいたします。



資格取得情報と スケジュール

もうすぐ西暦2000年を迎えます。この区切りの年に資格を取得しませんか？今回は来行われるいくつかの語学試験の試験日を紹介いたします。

英語

TOEIC 1/30、3/26

中国語

中国語検定試験 3/26、6/25

漢語水平考試 6、11月初旬(予定)

ロシア語

「ハングル」検定6/18、11/5

ロシア語

ロシア語能力検定公開試験

10月第1土、日(予定)

編集後記

めっきり秋らしくなってきました。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

先日初めての総会を開きました。1年半(半年)ぶりに同級生に会い、また先生方にもお会いできて楽しいひとときを過ごしました。参加人数はH10年・11年卒合わせても60人にも満たない数でしたが「アイツは今、これこれこうで元気にしてる」など、この会に参加していない人の近況報告が聞け「みんな、それぞれがんばってるんだな」と思い元気が出ました。

残念ながら都合により総会に出席できなかった方も多数いらっしゃると思っています。今回、このような形で同窓会会報が発刊される運びとなりましたので、ぜひ同窓会会報第1号ができたのを機に、連絡が途絶えていた級友に連絡をとってみてはいかがでしょうか。

また、後輩たちは今秋の紅翔祭に向けて々と準備を進めています。さまざまな企画を考えた前年度・前々年度よりもスケールアップした物をめざしており、頼もしい限りです。今は2学年だけの寂しい同窓会ですが、これから5年後、10年後とどんどん頼もしい仲間が増えていくことでしょう。

私たちはこの会報が仲間をつなぐチェーンでありたいと願っています。今はまだまだ短いチェーンですが、みなさんといっしょに今後大きな役割を担うものにしていければと思います。

編集委員

高橋 毅
若月 壮
山田 雅美
田中 優子
坂井 美鈴
渡辺 勝義
北原 理恵
黒崎資多右